

第11期大阪市廃棄物減量等推進員（通称：ごみゼロリーダー）委嘱式及び研修会が開催され、御栗区長より、阿形区代表、各連合代表に委嘱状が授与されました。



令和6年8月5日（月）、東成区役所地下1階にあります102・103会議室において、第11期大阪市廃棄物減量等推進員委嘱式及び研修会並びに代表者会議が執り行われました。

東成区では各地域振興会から158名の「ごみゼロリーダー」の推薦をいただき、今回は東成区区代表と各連合代表での委嘱式とさせていただきます。

阿形区代表をはじめ、11名の各連合代表が出席していただき、御栗区長より委嘱状が授与されました。

御栗区長からは「東成区100周年を迎え、来年には大阪・関西万博が開催されることから、さらなるSDGsの推進、まちの美化とごみ減量の取組をこれまで以上に地域の方々と密接に連携することが不可欠であり、廃棄物減量等推進員の皆様には、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進する地域のボランティアリーダーとして、また本市と地域の方々との架け橋として、今後ともご協力をお願いします。」と挨拶されました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第2部の研修会では「ごみゼロリーダー」の担っていただく役割や、ごみ減量等に関する情報の共有など、今後の活動の参考にさせていただく内容でした。

第3部の代表者会議では「東成区ガレッジセール」について議論されました。



第2部の研修会では、東部環境事業センターの下園所長から、地域のごみ減量に向けた「ごみゼロリーダー」の役割や、大阪市と地域住民を結ぶパイプ役を担うボランティアリーダーとして活動していただき、必要不可欠な存在としての重要な役割を、今後2年間担っていただくようお願いさせていただきました。

研修会では、東部環境事業センターの木下主事から「ごみゼロリーダー」の目標、具体的な役割や活動内容についてお話させていただきました。

活動内容については、「廃棄物減量等推進員活動マニュアル」の中からパワーポイントを用いて様々な内容についてご説明させていただきました。

また「大阪市廃棄物減量等推進員」の制度は、廃棄物処理法という国の法律に規定されており、その役割を委嘱させて頂いていることと、地元においてごみの分別や減量に関する啓発活動に、環境局とともに携わって頂きたいことをお願いさせていただいた研修会でした。

代表者会議では11月17（日）に開催予定の「東成区ガレッジセール」に向けて各連合代表から様々な議論がなされました。



ロゴマークの趣旨



ごみゼロリーダーを中心に、それを取り巻く3本の手が一体になって、

発生抑制 (Reduce : リデュース)

再使用 (Reuse : リユース)

再生利用 (Recycle : リサイクル)

の3Rに取り組んで、ごみ減量・リサイクルの環を構築する姿と循環型社会の形成に向けた3Rという基本原則を表しています。

《編集・発行》

大阪市東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL: 06-6751-5311 FAX: 06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

